

【下書きの一部】

3

「ものの数え方について」

町田 ゆうと

1. はじめに

ラーメン店で「ラーメン1つ」と注文したら、お店の人が「ラーメン1丁」と言い換えたことを不思議に思い、学校図書館で調べてみると、ものを数える言葉は多数あることが分かり、いろいろなものの数え方やその由来について調べることにした。

2. 調査方法

学校図書館・県立図書館・インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

◆日本語のものの数え方

日本語では、ものの数や量を表すときに、数字だけでなく、決まった単位をつける。これらの単位は、約500種類も存在するといわれ、数えるものの形や性質をある程度、反映して使い分けている。

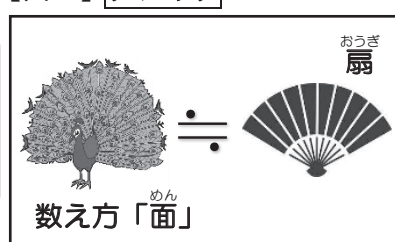
◆ラーメンの数え方

できあがったラーメンを「1丁」と数えるのは店員で、客は「1丁」とはあまり言わない。「丁」という漢字には、勢いのある様子を表す意味があり、雰囲気や気分を盛り上げ、元気を出すためにお店の人が使い出したことが分かった。

◆めずらしいものの数え方とその由来の例

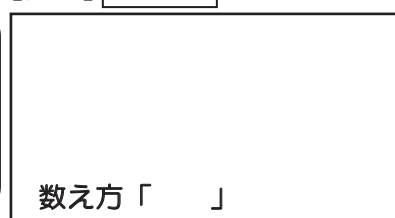
①【図1】について、クジャクは「面」で数えることもある。なぜなら、羽を広げた雄のクジャクと開いた扇の形が似ているので、扇の数え方と同じ「面」を使うようになったそう。

【図1】クジャク



【図2】

②【図2】について、



4. まとめ

〈出典・参考文献〉

安田 幸三『日本語の由来入門』2015年 小文堂出版

※

町田さんは、国語の時間に、言葉に関して興味をもったことをレポートにまとめています。左は、町田さんが書いているレポートの【下書きの一部】です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

一 町田さんは、【下書きの一部】の「1. はじめに」を読み直したときに、一文が長く分かりづらいと感じたので、……線部を次のように二文に分けて書き直すことにしました。

学校図書館で調べてみると、ものを数える言葉は多数あることが分かった。そこで、いろいろなものの数え方やその由来について調べることにした。

二文目のはじめに「そこで」という接続詞を入れた意図として適切なものを、次の1から4までのの中から一つ選びなさい。

- 1 「そこで」を入れることで、前の行動の原因を追求するため。
- 2 「そこで」を入れることで、前の行動の根拠を追求するため。
- 3 「そこで」を入れることで、次の行動の特徴を明確にするため。
- 4 「そこで」を入れることで、次の行動の理由を明確にするため。

二 町田さんは、【下書きの一部】の「4. まとめ」の最後に、〈出典・参考文献〉として、次の一冊についても載せることにしました。次の【表紙】と【奥付】から必要な情報を抜き出し、※に合うように書きなさい。

【表紙】



【奥付】

【著者紹介】

朝見 花子（あさみ はなこ）
1967年埼玉県生まれ。尾上大学文学部修了。主著に『数にまつわる言葉』など。

数え方の本

2021年 初版 第1刷発行
著者 朝見 花子
発行者 林 秀正
発行所 青空書房

〒000-0000
東京都千代田区〇〇
電話 03-1234-××××
<http://www.kazoemasyo.△.△>

三 町田さんは、【下書きの一部】の「◆めずらしいものの数え方とその由来の例」に【図2】としてもう一つ具体例を示して、数え方とその由来を書こうとしています。あなたなら、どのように書きますか。【図2】について、「に続けて、次の条件1と条件2にしたがって書きなさい。」

なお、解答を読み返して文章を直したいときは、二本線で消したり行間に書き加えたりしてもかまいません。

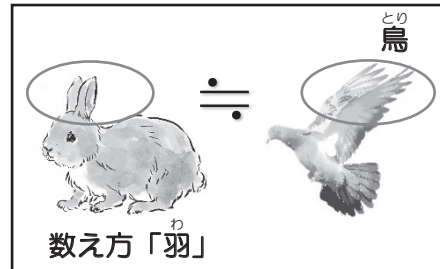
条件1 次の〈候補〉のA(ウサギ)、B(刀)のうちどちらか一つについて書く。

条件2 【下書きの一部】にある【図1】の説明の仕方を参考に、数え方とその由来が分かるように書く。

〈候補〉

A

【図2】ウサギ



B

【図2】刀

